

3 生涯にわたるスポーツの推進

- 1 スポーツ推進委員設置事業
- 2 市民体育大会開催事業
- 3 市民スポーツ振興事業
- 4 市民スポーツ振興事業
(総合型地域スポーツクラブ育成支援事業)
- 5 市民スポーツ振興事業(温水プール運営費補助金)
- 6 市民スポーツ振興事業
(バウンドテニス交流大会開催事業)
- 7 市民スポーツ振興事業
(市民スポーツフェスタ開催事業)
- 8 トップアスリート育成事業
- 9 トップアスリート育成事業
(ジュニアスポーツサポート事業)
- 10 スポーツエキスパート派遣事業
- 11 子どもの体力向上推進事業
- 12 ほたるいかマラソン開催助成
- 13 夢の教室開催事業
- 14 スポーツ・健康づくり推進事業
- 15 ウォーキングフットボール大会開催事業
- 16 宇津木杯ソフトボール交流大会開催事業
- 17 地域連携部活動推進事業
- 18 社会体育施設管理事業
- 19 テニス村管理運営事業
- 20 総合体育センター管理運営事業
- 21 総合体育センター整備事業
- 22 スポーツ・健康の森公園管理運営事業
- 23 フットボールセンター富山整備費

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	スポーツ推進委員設置事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 01	保健体育総務費
根拠法令等	スポーツ基本法、スポーツ推進委員設置に関する規則		

事業の対象

誰・何に対して
市スポーツ推進委員

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市民のスポーツ振興のため、研修会の開催等により活動を支援し、資質の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
研修会、講習会等の参加人数	人	目標	150	200	200	200
		実績	54	132	217	
根拠						
		目標				
		実績				
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①地域におけるニュースポーツの普及振興活動を行う。 ②市及び体育協会主催行事の企画、運営協力を行う。

活動指標(どの程度手段を実施したか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
ニュースポーツ体験会、講習会開催数	回	計画	10	10	10	10
		実績	—	10	10	
		計画				
		実績				
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額			1,884	1,816	1,640	2,540
財 源 内 訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		1,884	1,816	1,640	2,540
合計事業費			1,884	1,816	1,640	

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	法律に定めて設置しており、生涯スポーツの普及、振興を図るため必要である。
有効性	やや高い	市、地域スポーツの振興を図るため、各種研修会などの開催、参加により資質向上を図る事業を実施している。
効率性	やや高い	事業の一部については、市体育協会等との連携により、事業の効率化を図っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

本市のスポーツ振興を推進するための中心的な役割を担うため、事業継続は必要不可欠である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	委員選出は地区からの推薦のみに頼るのではなく、担当課においても有望な人材の発掘に努めていく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民体育大会開催事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
一般市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
スポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
市民体育大会参加者数	人	目標 実績		2,500	2,500	2,500
根拠			1,476	1,500		
		目標 実績				
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①市体育協会を中心に、各競技種目を開催する。 ②市民スポーツフェスタ内で開会式を開催し、種目間の総合交流を図る。 ③競技運営を体育協会及び単位協会に委託し、競技団体の自立を支援する。

活動指標(どの程度手段を実施したか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
競技種目数	種目	計画 実績		24	24	24
			24	24		
		計画 実績				
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額				1,745	1,745	1,745
財 国県支出金						
源 地方債						
内 其他						
訳 一般財源			1,745	1,745	1,745	1,745
合計事業費			1,745	1,745		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の健康の保持増進及び競技力向上を図るため、大会を開催しており、運営についても市体育協会へ委託している。
有効性	高い	例年24競技種目を開催しており、一部県民体育大会の予選会も兼ねている。
効率性	高い	市体育協会へ委託している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

歴史のある市民体育大会は、本市の総合競技イベントとして市民に定着しており、県民体育大会の予選もかねて継続して実施していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	事業の実施内容について引き続き市体育協会と連携していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民スポーツ振興事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
一般市民

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
市民スポーツ大会の開催、全国大会等出場者への激励費、スポーツ少年団への育成助成を行い、スポーツの振興を図る。各種団体へ委託料および補助金を支給する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
全国大会等出場者数 (個人)	人	目標		150	150	150	150
		実績	10	86	136		
根拠							
全国大会等出場者数 (団体)	団体	目標		5	5	5	5
		実績	1	1	5		
根拠							

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

①市民スポーツ大会を開催する。 ②全国大会等出場者へ激励費を支給する。 ③スポーツ少年団へ育成助成を行う。 ④市体育協会への委託料(県体派遣)及び補助金(バス運行補助) ⑤室内温水プール施設運営補助金 ⑥総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金
--

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
市スポーツ少年団登録人数	人	計画			550	550	550	550
		実績	536	570	561			
なめりCANクラブ会員数	人	計画			500	500	500	
		実績	323	303	277			
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				894	1,928	18,345	18,759	18,759
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他		1	1	1	1	1	
	一般財源		893	1,927	18,344	18,758	18,758	
合計事業費				894	1,928			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民が参加しやすい大会の開催や、全国大会等へ県代表として出場した選手への激励費の支給、スポーツ少年団組織の育成など、生涯にわたるスポーツに親しむ環境整備のために必要不可欠である。
有効性	やや高い	市民スポーツ意識の高揚を図るため、必要な事業であるが、市民スポーツ大会開催については、種目変更や参加者層の拡大を図るため検討する必要がある。
効率性	高い	スポーツ大会の開催やバス運行補助、県民体育大会派遣については、市体育協会へ委託している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

市民のスポーツ振興を図るため必要な事業である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	全国大会等出場者(主にジュニア層)の増加に伴い、激励費の支出が増えている。他事業を統合するなど、柔軟に対応できるよう改善していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民スポーツ振興事業（総合型地域スポーツクラブ育成支援事業）	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	市総合型地域スポーツクラブ
---------	---------------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	スポーツ振興を図るため平成15年に設立された「なめりCANクラブ」が、会員を獲得し、会費を主財源として自立運営できるようにする。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
クラブ会員数	人	目標	500	500	500	500	500
		実績	323	303	277		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①多種多様な教室やイベントなどを展開するよう支援する。 ②土日の中学校部活動の地域移行に伴い、中学生の活動の場を確保できるよう支援する。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
教室、イベント、セミナー開催数	種目	計画	30	30			
		実績	22	25	29		
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			1,500	1,500	1,500		
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,500	1,500	1,500		
合計事業費			1,500	1,500			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」へ育成補助金として支出している。自立するためには必要である。
有効性	高い	運営役員が中心となり、毎月会議を行い、クラブの運営状況や今後の方向性等について協議している。
効率性	高い	なめりCANクラブが引き続き自立運営できるよう、協議検討している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

新たな会員獲得に向けて毎月定例の運営委員会を開催し、教室メニューやイベント等の見直しを図るなど、協議している。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	市民が生涯に渡り健康で明るく充実した生活を送ることができるよう生涯スポーツ等をとおして、魅力ある教室やイベント等を実施していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	令和4年度から「市民スポーツ振興費」に統合

その他

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民スポーツ振興事業（温水プール運営費補助金）	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項	05 保健体育費
施策名	②競技力の向上	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
一般市民

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
幼児から高齢者まで幅広い市民の健康づくりや水泳競技の競技力向上を図る。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
全国大会等出場者数	人	目標		10	10		
		実績	1	1	2		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）
①誰もが利用しやすい施設となるよう指導する。 ②児童生徒から一般まで水泳競技の技術向上が図られるよう指導する。

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
入場者数(一般開放)		人	計画		15,000	15,000		
			実績	7,657	6,456	7,800		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				13,740	13,740	13,740		
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			13,740	13,740	13,740		
合計事業費				13,740	13,740			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	（公財）体力づくり指導協会へ補助金として支出している。
有効性	やや高い	幅広い世代の利用が見受けられるが、特に水泳は健康維持や体力向上に有効な手段の一つであることから、高齢者や小学生の利用者増について検討すべきである。
効率性	高い	（公財）体力づくり指導協会へ補助金として支出している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

健康寿命延伸都市の実現や、子どもの体力向上を図るため、引き続き、関係団体とのより一層の連携が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	一般開放されている市内唯一のプールであり、適正な運営ができるよう補助を継続していく。
新年度の予算要求事項（改革・改善案）	令和4年度から「市民スポーツ振興費」に統合

その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民スポーツ振興事業（バウンドテニス交流大会開催事業）	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	
スポーツに関心のある者	

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	
スポレクとやま2010において本市が開催会場となったバウンドテニスの普及とともに県外、出場選手に本市の地域住民との交流や滑川市を全国にアピールする機会とする。	

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
大会参加者数	人	目標		120	120	120	120
		実績			81		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
①47都道府県バウンドテニス協会へ参加を案内する。	
②選手の交流や技能に応じて参加できる大会運営を行う。	
③本市のPRとおもてなしを行う。	

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
大会参加都道府県数		箇所	計画		15	15	15	15
			実績	—	—	5		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額						150	100	
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					150	100	
合計事業費				794	845			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	第23回スポーツ・レクリエーション祭バウンドテニス開催実績をいかし、競技団体が自主運営できるように検討が必要。
有効性	やや高い	バウンドテニスの普及と市バウンドテニスクラブ育成の推進。
効率性	やや高い	県バウンドテニス協会、市バウンドテニスクラブとの連携。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当	B
B:事業の進め方の改善の検討	
C:事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D:事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

バウンドテニスの普及と交流を目的とした大会内容となるように、また、将来的に競技団体が自主運営できるように、関係団体と検討しながら事業を進めていく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	減額
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	現在、市教委が事務局を担当しているが、協会への運営の完全移行を目指し統廃合する。令和4年度はコロナウイルス感染症対策を考慮しながら3年ぶりに開催した。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	令和4年度から「市民スポーツ振興事業」内で実施するため、事業としては統合。市の補助金は令和5年度をもって終了とし、令和6年度以降は運営を協会へ完全移行する。
その他	

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	水野 清康
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	市民スポーツ振興事業（市民スポーツフェスタ開催事業）	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予算科目	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	
一般市民	

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）	
市内の各種団体が一丸となって、スポーツへの意識の益々の高揚を図る。	

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
市民スポーツフェスタ 総合開会式参加者数	人	目標		700	700		
		実績		100	150		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）	
①市民体育大会、市スポーツ少年団結団式も兼ねて市のスポーツ大会総合開会式を行う。 ②様々なジャンルの市民参加型のスポーツ体験コーナーを設ける。	

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
スポーツ体験コーナー 参加者数	人	計画		300	300		
		実績		70	150		
		計画					
		実績					
コスト（千円）			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				500	500	500	500
財源内訳							
国県支出金							
地方債							
その他							
一般財源				500	500	500	500
合計事業費				500	500		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	実施については、市体育協会に委託しており、各種団体との連携も図れている。
有効性	やや高い	フェスタ参加者数は高水準を保っており、スポーツへの関心は高まっている。
効率性	高い	市体育協会に委託しており、効率的な運営が可能である。

総合評価

事業の課題

市内の各種スポーツ団体が一同に会する唯一のイベントであり、競技スポーツ団体の士気を高め、生涯スポーツ団体の振興に寄与し、スポーツ少年団の団結を深めるものであり、継続的に開催していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	本市のスポーツ大会及びイベント等の総合開会式として、スポーツ少年団の結団式、生涯スポーツの普及振興を目的に、今後も継続的に開催する。
新年度の予算要求事項（改革・改善案）	令和4年度から「市民スポーツ振興費」に統合

その他

--	--	--	--	--	--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	トッパアスリート育成事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 算	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	会 計	01
基本施策	5 生涯スポーツの振興	款	10
施策名	②競技力の向上	項	05
根拠法令等		目	01
			保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して
市内アスリート

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市体育協会と連携しながら小学生から一般まで、各種競技種目での競技力向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
北信越中学校体育大会出場者数	人	目標		30	30	30	30
		実績	—	62	20		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①トッパアスリートやトッパアスリートに関わる専門家による実技クリニックを開催する。 ②小中学生を対象としたトレーニングスクールを開催する。 ③激励費、選手派遣費、強化育成費を支給し、競技者の金銭的負担を支援する。 ④講習会を開催し、指導者等へのスポーツに関する情報や専門的な知識の提供を行う。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名		単位	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
講習会、教室開催数	回	計画		18	18	18	18
		実績	16	5	7		
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			1,814	3,175	4,070	5,076	5,076
財 源 内 訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,814	3,175	4,070	5,076	5,076
合計事業費			1,814	3,175			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市体育協会、中学校体育連盟との連携により推進している。
有効性	やや高い	中長期的な視野で、全国大会で活躍する選手や世界大会へ出場する選手の排出を、市体育協会や競技団体を協議しながら進めている。
効率性	高い	市体育協会へ委託している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

県大会や全国大会で活躍するジュニア層や、高校・大学・社会人と競技に取り組む選手も増加しており、今後も継続していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	スポーツ少年団・中学校運動部活動、ジュニア層に対する育成、支援を継続していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	トップアスリート育成費（ジュニアスポーツサポート事業）	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	②競技力の向上	目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内中学生

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
運動量を確保し、競技力の向上を図る。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
教室参加者数	人	目標	41	500	500		
		実績		129			
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）
専門性の高い指導者等による質の高い効果的なトレーニング指導を行う。

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名		単位	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
教室開催数	回	計画	/	10	15	/	/
		実績	6	3	4	/	/
		計画	/				
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			39	99	150	/	/
財 源 内 訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		39	99	150		
合計事業費			39	99	150	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	専門性の高い指導者を招くことで、質の高い知識や技能に触れることができ、体力や競技力向上につながるため必要である。
有効性	高い	体力向上やそれに伴う技能向上に向けて、より現場のニーズ把握に努めたい。
効率性	高い	事業の一部について、市体育協会と連携すべきである。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

中学運動部活動部員の体力や競技力の向上につなげるため、トップアスリート育成事業として継続的に実施していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	ジュニア層の競技力向上を目的に継続的に支援していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	令和4年度から「トップアスリート育成費」に統合

その他

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	スポーツエキスパート派遣事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	②競技力の向上	目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内中学校運動部活動所属生徒

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
中学校運動部活動において、顧問(教諭)のほか地域指導者の協力を得て競技力の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
北信越中学校体育大会出場者数	人	目標		30	30	30	30
		実績	—	62	20		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①学校運動部活動の協力者として、顧問と取り組み内容等について協議し、生徒の活動を補助する。 ②競技力向上を図るため、技術指導を行う。

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
スポーツエキスパート派遣者数		人	計画		13	9	7	7
			実績	14	11	9		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				698	546	475	349	349
財源内訳	国県支出金			160	144	128	117	117
	地方債							
	その他							
	一般財源			538	402	347	232	232
合計事業費				698	546	475		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市内中学校運動部の競技レベルの向上のみならず中学生の体力向上や適正な運動習慣化についても成果がある。
有効性	高い	中学校運動部活動顧問との連携を取りながら進めている。
効率性	高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

中学校運動部活動の成果は、着実に出てきており今後も事業を継続する必要があるが、休日の運動部活動の地域移行に向けた対応もあり、エキスパートのあり方について今後検討していかなければならない。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	休日の運動部活動の地域移行に向け、スポーツエキスパート、部活動指導員の事業を活用しながら、地域の指導者を確保を図る。また、国、県、中体連の動向を注視しながら、中学生にとって望ましいスポーツ環境の整備・維持に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	子どもの体力向上推進事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	②競技力の向上	目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内小中学校児童・生徒

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市内小中学校児童生徒の体力の実態を把握し、学校と連携して、体力向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
新体力テストの男女各学年の全国・県平均を上回った種目数(小学校8種目、中学校9種目)	種目	目標	34	34	34	34
		実績	14	9		
根拠						
		目標				
		実績				
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①保育所(園)、認定こども園、幼稚園で体力測定、市内小中学校児童生徒の新体力テストを実施、分析する。
②各学校における体力向上運動を推進する。
③幼保小へプレイリーダーを派遣する。
④指導者研修会を実施する。
⑤親子運動教室を実施する。

活動指標(どの程度手段を実施したか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
市スポーツ少年団登録人数	人	計画	550	570	570	570
		実績	536	570	561	
プレイリーダー派遣事業への市内園児の参加者数	人	計画	500	500	500	500
		実績	459	391	380	
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額			466	339	339	731
財 源 内 訳	国県支出金		80	53	61	99
	地方債					
	その他					
	一般財源		386	286	278	632
合計事業費			466	339	339	

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	全国的に児童生徒の体力低下が危惧されており、継続的に事業を進める必要がある。
有効性	高い	H28より、幼児期からの継続的な視点で実施できるよう、幼児期運動普及啓発事業と統合して実施している。
効率性	やや高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。
		H28より、幼稚園、保育所園とも連携し、成果の向上に努めている。
		各小中学校の体力向上推進委員との連携により効率的に事業を進めている。
		H28より、幼児期運動普及啓発事業と統合し、幼稚園、保育所園とも連携し、効率性を向上を図っている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当	B
B:事業の進め方の改善の検討	
C:事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D:事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

コロナの影響もあり、子どもの体力の低下が著しい。事業を継続し、運動好きな子ども、運動が得意な子どもの育成を図るとともに、健やかな子どもの育成のため、事業を継続していく。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	体力測定の実施、集計及び分析を小中学校との連携、協力により取り組み集を作成し、次年度につなげる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	ほたるいかマラソン開催助成	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
スポーツに関心のある者

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
本市の一大スポーツイベントとして定着しており、市内外からの参加者拡大を図り、健康の保持増進に役立てるとともに、本市のPRにも役立てる。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
参加者数	人	目標	700	3,500	3,500	3,500	3,500
		実績	306	—	1887		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①著名なゲストランナーを招致し、参加者増加を図る(特に市内参加者の増加)。 ②WAVE滑川とも連携し、観光PR等にも努める。 ③市民総参画のイベントとして定着化を図る。

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
市内参加者数		人	計画		200	500	500	500
			実績	57	—	131		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				1,500	1,134	2,000	3,000	2,000
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,500	1,134	2,000	3,000	2,000
合計事業費				1,500	1,134	2,000		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	富山マラソン前哨戦としても大変好評で、依然ランナーには定着している大会である。
有効性	高い	市体育協会が中心となり、市内関係団体との連携の下事業が進められている。
効率性	高い	市体育協会へ補助金として支出している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

富山マラソン前哨戦としても大変好評であり、参加者は年々増加しており、今後も継続していく必要がある。令和5年度は市制施行70周年記念事業として特別ゲストを招くなど、規模を拡大しての開催を予定している。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	天候や社会情勢等の原因により、通常開催が困難になった場合の対応策等を検討している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

通常開催として実施した。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	夢の教室開催事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 目	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	
市内全小学校5年生と市内全中学校2年生	

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	
様々なアスリートを、特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、夢や目標に向けて努力しようとすることやフェアプレー精神、仲間を大切にすること意識や態度を育む。	

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
夢シート返却率	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
①「夢の教室」(授業)をオンラインで実施する。 ・夢先生、児童同士のコミュニケーションを図るため のゲーム ・夢先生による体験談をもとに夢・努力等考える ク、ディスカッション ・「夢シート」(児童の夢・考え等)の記入 ②「夢シート」へ夢先生がコメント記入し、配布する。	

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
実施学校数		校	計画		9	9	9	9
			実績	9	9	9		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				1,323	1,345	1,197	2,143	2,143
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,323	1,345	1,197	2,143	2,143
合計事業費				1,323	1,345	1,197		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	児童の将来や生き方を考え、心を育てる機会として効果があり必要である。 H28から中学2年生も対象に実施し、より現実的に将来の生き方を考える機会となっている。
有効性	高い	(公財)日本サッカー協会「JFAこころのプロジェクト」推進室と連携をとりながら進めている。
効率性	高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

児童生徒が夢や目標に向けての努力やフェアプレー精神などを考える貴重な機会であり、今後も事業を継続する必要がある。近年は、感染症対策により、対面式ではなくオンラインの実施で開催であったが、令和5年度からは対面式での実施となり、子どもたちにとってより実体験をしながら夢の先生と触れ合うことができる貴重な機会となることから事業を継続する。
R5年の実施対象については、中学2年生に絞って実施する。(小5はR4年で10年の節目)

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	H30年度からスポーツ教室を実施している。講師、事業内容についてJFAとの協議が必要。事業内容の成果や結果を保護者等へも周知し、事業継続していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

オンラインで実施	
----------	--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	スポーツ・健康づくり推進事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
一般市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
「スポーツを通じた健康長寿社会等の創生」を目的に、健康増進の意識の醸成を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
なめりかわ健康ポイント申込数	枚	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	665	810	1,210	
根拠						
		目標				
		実績				
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①スポーツイベントを開催する。 ②スポーツ等の取組みに応じたポイントラリーを実施する。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
ウォーキングイベント 実施回数	回	計画		3	4	4	4
		実績	3	4	4		
朝の集いの参加者数	人	計画		1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	465	366	342		
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			775	1,112	580	740	740
財 源 内 訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		775	1,112	580	740	740
合計事業費			2,180	2,607			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツを通じた健康づくりへの関心が高まりつつあり、引き続き取り組みを継続すべきである。
有効性	やや高い	スポーツ実施率の向上に向けて、スポーツ無関心層への働きかけを強化すべきである。
効率性	高い	なめりCANクラブや市民健康センターとの連携を強化すべきである。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

若年層～中年層に健康意識を持ってもらい健康寿命を延伸するためにも、市公式LINE等のSNSを活用し情報を発信していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	健康寿命の延伸を図るため、体力づくりのスポーツ活動や健康診断の受診等と連携した事業を展開し、幼児期から高齢者まで機会の創出に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	水野 清康
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	ウォーキングフットボール大会開催事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項 05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	
一般市民	

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	
スポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図る。	

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
参加者数	人	目標	100	200	200	200	
		実績	98	155	117		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
①60歳以上と一般の2部門を設け、各リーグ戦形式で行い、種目の特性を生かすことで、年齢差や経験の有無に関係なく、誰もが楽しく活動することができるようにする。	
②大会の開催をきっかけとして、体験会や研修会を開催し、ウォーキングサッカーの普及や振興を図る。	
③滑川市スポーツ推進委員協議会と連携し、出前講座等を開催する。	

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
体験会、研修会開催回数		回	計画		10	10	10	10
			実績	1	4	1		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				443	349	417	456	456
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			443	349	417	456	456
合計事業費				443	349	417		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	サッカー経験の有無に関係なく取り組める種目で、走ってはいけないという条件により、誰もが参加しやすいものであり、市民のスポーツ振興及び健康の保持増進に必要である。
有効性	高い	市民のスポーツ振興に必要な事業であるが、より多くの市民が参加するために検討する必要がある。
効率性	高い	JFA、市サッカー協会等との連携が強化されるべきである。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

市民のスポーツ振興及び健康の増進のために必要な事業である。
市内外への周知や多様な団体等への働きかけを工夫する必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	スポーツ推進委員協議会や他市町村、関係団体等と連携し、研修会や体験会の開催等により、ウォーキングフットボールの普及に努める。R5年度より、なめりCANクラブの新規教室として、市サッカー協会の協力を得て、ウォーキングフットボールの教室を開設する。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--	--	--	--	--	--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	宇津木杯ソフトボール交流大会開催事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項 05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目 目 01	保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内中学校ソフトボール部員(教室は、小学生や高校生も対象)

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
ソフトボールの普及や競技力の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
教室参加者数	人	目標 実績		100 35	100 60	100	100
根拠							
		目標 実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①県内強豪チームを招いての交流大会を実施する。 ②オリンピックによるソフトボール教室を開催する。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
大会参加チーム数	組	計画		4	8	8	8	8
		実績		4	4	4		
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				734	714	722	774	774
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			734	714	722	774	774
合計事業費				2,139	2,209			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	少子化の中、市内中学校ソフトボール部を構成する部員数の維持ができています。
有効性	やや高い	ソフトボール教室に市内小学生がさらに参加するような対策が必要である。
効率性	高い	今後さらに市にソフトボール協会と連携を強化し、事業の効率化を目指したい。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

市民のスポーツ振興及び健康の保持増進、ジュニア層育成のため、滑川高校とも連携を図り、継続的に開催していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	更なるジュニア層の育成が図れるよう、関係機関と連携していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	水野 清康
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	地域連携部活動推進事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内中学生

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
少子化の中でも、地域の子どもたちがスポーツに親しむ機会が維持、整備するとともに、教員の働き方改革を進めるため、休日の運動部活動の地域移行の推進に向けた実践研究を行い、その在り方を協議、検討する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
参加生徒満足度	%	目標			80	
		実績			82	
根拠						
顧問の休日の勤務時間		目標			0	
		実績			0	
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
学校と地域が協働・融合した部活動の具体的な方針について実践研究を行う。 対象：滑川中学校男女バドミントン部

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
活動回数		回	計画			30		
			実績			20		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額						332		
財 源 内 訳	国県支出金					319		
	地方債							
	その他							
	一般財源					13		
合計事業費						332		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	国の方針でもあり、少子化が進む中であって、本市の子どもたちがスポーツに親しむ機会がなくなることがないよう、着実に進めていく必要がある。
有効性	高い	学校だけでなく地域でスポーツ環境を整備していくことは、持続可能性の高いスポーツ環境の維持につながり、本市の子どもたちがスポーツに親しむ機会が保障できる。
効率性	やや高い	様々な課題があり、容易に地域移行を進めることが難しい。関係団体等との協議や実証研究を継続し、本市の子どもたちにとってよりよいスポーツ環境の整備に努めるべきである。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

各関係団体の事情等もあり、容易に移行を進めるはできない。 協議や実践研究を継続し、関係団体の連携を深める必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	増額
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	関係団体とのヒアリングや協議会を実施し、関係団体の連携強化に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	金森 淳史
-------	-------	------	--------	-----	-------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	社会体育施設管理事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項 05	保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目 目 02	体育施設費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市民

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
市内社会体育施設（下梅沢テニスコート等）の整備、利用促進やグラウンド開放に係る修繕により安全に利用できるよう努める。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
下梅沢テニスコート利用者数	人	目標 実績	13,000 8,881	13,000 7,328	13,000 10,598	13,000	13,000
根拠							
		目標 実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）
①下梅沢テニスコート等に係る管理運営及び修繕、改修により利用促進を図る。 ②学校グラウンド照明機器の修繕により安全な利用対策に努める。

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
学校体育施設利用者数(体育館、グラウンド)		人	計画		90,000	90,000	90,000	90,000
			実績	90,666	92,020	106,060		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				4,577	5,626	4,838	5,022	5,022
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他			1,700	1,133	1,217	1,700	1,700
	一般財源			2,877	4,493	3,621	3,322	3,322
合計事業費				4,577	5,626	4,838		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の身近なスポーツ施設として、本市スポーツ振興の重要な役割を担っている。
有効性	高い	計画的な施設管理に努めている。
効率性	高い	今後老朽化していく施設において、定期的な点検や計画的な修繕など、施設の長寿命化を図るため、対応していく。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

体育施設管理について、経年劣化等による老朽化が進む中、計画的な整備が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	緊急性、優先度をしっかりと反映させた計画の整備に取り組んでいる。
新年度の予算要求事項（改革・改善案）	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	テニス村管理運営事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目	02 体育施設費
根拠法令等	滑川市みのわテニス村設置条例		

事業の対象

誰・何に対して

みのわテニス村の管理運営

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）

テニスコート、クラブハウス、健康休養施設について効率的に管理するとともに、利用率向上に努める。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
テニス村利用者数	人	目標	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
		実績	31,196	36,803	37,739		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）

- ①市内外テニス愛好者、学校部活動へ利用誘致を行う。
- ②健康休養施設等の計画的な改修・整備を行う。

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
テニスコート利用者数		人	計画		20,000	20,000	20,000	20,000
			実績	1,369	1,870	1,894		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				36,151	39,959	37,692	40,342	40,342
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			36,151	39,959	37,692	40,342	40,342
合計事業費				36,151	39,959			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市内外から利用される施設であり、今後とも事業を継続し運営していく必要がある。
有効性	高い	テニスコートの利用者数について、子どもの無料化が利用率向上に大きくつながっている。
効率性	高い	施設管理については、文化・スポーツ振興財団へ委託している。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

新たな客層の獲得や施設の計画的な修繕を図り、市内唯一の温泉施設として事業を展開していく。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	テニス村の今後の方向性について、各関係団体と協議を進めていく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

新型コロナウイルス感染症によって減少した施設利用者が回復傾向にある。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	総合体育センター管理運営事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目	02 体育施設費
根拠法令等	滑川市総合体育センター条例		

事業の対象

誰・何に対して	
市総合体育センターの管理運営	

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	
本市におけるスポーツの拠点施設としての総合体育センターについて、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。	

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
総合体育センター利用者数	人	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績	36,676	64,290	58,212		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
①多くの市民に利用いただけるよう、利用調整する。 ②市内競技団体等との連絡調整を行う。 ③管理運営業務の効率化を図る。	

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
利用団体数		団体	計画		120	120	120	120
			実績	120	120	120		
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額				26,480	24,876	27,063	25,038	25,038
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			26,480	24,876	27,063	25,038	25,038
合計事業費				26,480	24,876			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツの拠点施設として、今後も引き続き管理運営していく必要がある。
有効性	高い	利用者数も向上しており、順調であると考ええる。
効率性	高い	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

スポーツの拠点施設としての市総合体育センターを体育協会に管理委託することにより、利用調整や運営の面で成果があると考ええる。引き続き、スポーツ・健康の森公園や温水プールとの連携も深めていく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	緊急性、優先度をしっかりと反映させた計画の整備に取り組んでいる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

新型コロナウイルス感染症によって減少した施設利用者が回復傾向にある。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	総合体育センター整備事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予 会計	01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	算 款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	科 項	05 保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目 目	02 体育施設費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	総合体育センターの整備
---------	-------------

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）	施設の長寿命化を図る。併せて、施設のリニューアルを施すことで、さらなる利用者の増加を目指す。
------------------	--

成果指標（どの程度意図が達成されたか）							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
総合体育センター利用者数	人	目標	36,676	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績	64,290	58,212			
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）	老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施する。 (R3年度:受電設備更新工事等)
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名		単位	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
利用団体数	団体	計画		120	120	120	120
		実績	120	120	120		
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			2,045	5,618	1,089	14,342	
財 源 内 訳	国県支出金			833			
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,045	4,785	1,089	14,342	
合計事業費			2,045	5,618			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツ振興の拠点施設として、市総合体育センターを計画的に整備していく。
有効性	高い	老朽化等による緊急的な改修工事や利用者の要望に応じている。
効率性	高い	緊急的の高いものから計画的に実施している。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

緊急的な工事等に対応してきているが、竣工後30年近く経過しており、さらなる計画的な施設の改修が必要と思われる。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	施設の維持に向け、修繕等の早期対応に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

新型コロナウイルス感染症によって減少した施設利用者が回復傾向にある。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	スポーツ・健康の森公園管理運営事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計 01	一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款 10	教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項 05	保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目 02	体育施設費
根拠法令等	滑川市都市公園条例		

事業の対象

誰・何に対して	スポーツ・健康の森公園の管理運営
---------	------------------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	本市におけるアウトドアスポーツの拠点施設として、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
スポーツ・健康の森公園の利用者数	人	目標		60,000	60,000	60,000	60,000
		実績	47,237	51,086	50,934		
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①屋外における、スポーツ振興、健康・体力づくり、交流の拠点として、総合体育センターや温水プールとも連携しながら利用促進とサービスの向上に努める。 ②施設を活用したイベントを開催することで、市民へのPRを図る。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
イベント開催数	回	計画		7	7	7	7
		実績	6	5	5		
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額			22,072	22,567	22,732	22,746	22,746
財 源 内 訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		1,108	1,176	970	1,100	1,100
	一般財源		20,964	21,391	21,762	21,646	21,646
合計事業費			22,072	22,567	22,732		

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民を中心とした多くの方が利用している。今後も利用しやすい環境を整える必要がある。
有効性	高い	市内外の多くの方が利用している。
効率性	高い	公園緑地課や市体育協会との連絡を密にする

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

市民の健康・体力づくりの拠点施設として、引き続き維持管理に努めていく必要あり。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	総合体育センター等周辺施設と連携し、利用拡大に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

新型コロナウイルス感染症によって減少した施設利用者が回復傾向にある。

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（R4年度事業）

事業名	フットボールセンター富山整備費	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	政策2 学びの楽しさがあふれるまちづくり	款	10 教育費
基本施策	5 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	③スポーツ環境の充実	目	02 体育施設費
根拠法令等	滑川市都市公園条例		

事業の対象

誰・何に対して
フットボールセンター富山の整備

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
県内におけるサッカー競技の拠点施設及びトレーニング施設として、効率的に整備するとともに、利用率の向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)						
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5
フットボールセンター富山の利用者数	人	目標	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績	56,782	66,272	49,754	
根拠						
		目標				
		実績				
根拠						

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
快適な利用環境を確保するため、計画的な整備を行う。(R4年度:海側人工芝コートの張替)

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R2 (実績)	R3	R4	R5	R6
大会開催数	回	計画		150	150	150	150
		実績	—	141	84		
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R2	R3	R4	R5	R6
事業決算額・計画額					118,709	500	
財 源 内 訳	国県支出金						
	地方債						
	その他				60,000		
	一般財源				58,709	500	
合計事業費					118,709	500	

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	県内サッカー競技の拠点施設として、今後も引き続き維持管理していく必要がある。
有効性	高い	利用者数も安定しており、順調であると考ええる。
効率性	高い	NPO法人フットボールセンター富山へ施設管理委託をしている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当	A
B:事業の進め方の改善の検討	
C:事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D:事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

張替えた新しい人工芝コートの維持管理を徹底した長寿命化に取り組む。令和4年度は張替のため、利用者数や収入が落ち込んでいるが、今後、新規事業等を立ち上げ、盛り返していくこととしている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	市内スポーツ施設と連携し、引き続き維持管理に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

--

評価者

評価責任者	丸山 浩征	担当係長	水上 佳津哉	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

